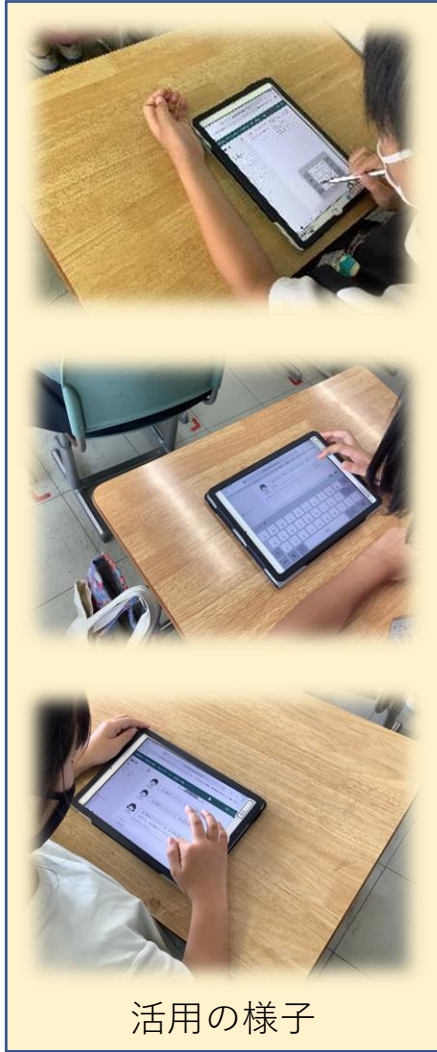


広島県の呉市立港町小学校 校長 畠藤 晃 様から、MEXCBTの利活用についてお話を伺いました。
 港町小学校では、6年生が朝の学習や家庭学習を中心に活用され、学級や個人の課題を把握・分析し、授業改善や個別の支援に生かしています。特に自動採点機能を効果的に使用され、児童の実態に応じた学習や業務の改善にもつなげています。そこで、自動採点機能を含めた活用の工夫について伺いました。
 ■■■学校HPのURL <http://www.kure-city.jp/~mins/>■■■

<p>活用の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝の「スキルタイム」(全学級で時間を決めて基礎的基本的な問題を解く帯学習)や家庭学習を中心に利用している。児童が採点機能を活用し、間違えた問題をそのままにせず、必ず解き直しを行っている。 これまでのプリント学習では、解き直し及び採点に多くの時間を費やしていたが、時間の短縮とともに児童が意欲的・継続的に取り組むことができた。また、児童一人一人の学習進度や能力に応じて、自分のペースで学習させた。 教員が児童の回答状況を細かく確認することができるため、学級や一人一人のつまづきを把握・分析し、授業改善や個別の指導・支援に生かしている。
<p>子どもたちの反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を使って学習することにより、プリントを使用した学習よりも意欲的に取り組むことができた。 間違えた問題を繰り返し学習し、解き直すことができるため、児童の達成感につながった。 文章問題が苦手な児童が、意欲的に取り組めるようになった。
<p>先生の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本市で導入している学習eポータルから直接ログインできるため、接続のための他の設定項目が必要なく、学習eポータルから発展的に活用できた。 応用問題として「全国学力・学習状況調査」の過去問題を活用したことで、思考力・判断力・表現力等を高めることにつながった。 自動採点機能のおかげで、業務の時間削減につながった。 児童一人一人の学習進度や学習到達度などの教育データを利活用することで、児童の実態に応じた個別の対応ができる。
<p>今後の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語科, 算数科を中心に活用を進めているが、他教科でも活用していきたい。 6年生での活用を中心としながら、さらに他の学年での活用も進めたい。



活用の様子